

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

よみがえる日本映画 vol.3 [新東宝篇]

—映画保存のための特別事業費による

The Little Known Japanese Cinema vol. 3

—NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

2012年1月6日(金)~2月5日(日)

電力事情など今後の状況により急遽スケジュールが変更される可能性もございます。最新の情報は、当館ホームページ又はハローダイヤルにてご確認ください。

1月の休館日:

月曜日 2011年12月27日(火)~2012年1月5日(木)

大ホール

開映後の入場はできません。

定員=310名(自由入替制)

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円/

障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

券券=2層券付

- ・観覧券は当日・当該日のみ有効です。
- ・発券・開演は開演の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- ・学生、シニア(85歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものを各自提示ください。
- ・発券は各館1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



よみがえる日本映画

—映画保存のための特別事業費による

vol. 3
新東宝篇

2012

1

NFCカレンダー
2012年1月号

大ホール 上映作品

よみがえる日本映画 vol.3

[新東宝篇]

—映画保存のための特別事業費による

The Little Known Japanese
Cinema vol.3 - NFC's Newly
Acquired Collection from
Major Film Studios

フィルムセンターでは、平成21年度補正予算から映画保存のための特別事業費を得て、通常の収集活動では困難なフィルム・コレクションの拡充や原版素材の整備に取り組んできました。事業の実施にあたっては、次のような二つの方針が定められました。

①フィルムセンターがこれまでに収集した貴重なフィルムから保存用のネガと上映用のニュー・プリントを作成する。

②映画会社が保管している旧作映画のうち、既にネガが失われマスター・ポジ、上映プリントのみが残されている作品を調査して、ネガとニュー・プリントの作成を行う。

今回の特別事業により、既存のコレクションからの原版作成は159作品、映画会社からの購入は173作品、総数では332作品(フィルムの総数は909本)が新たにフィルムセンターのコレクションとして収蔵されることになりました。とりわけ後者は、これまでフィルムセンターでの収集がかなわなかった作品、映画館のスクリーンでは久しく見る事ができなかった作品がほとんどを占めています。それらをまとめて紹介する企画の第3弾として新東宝の映画を特集する今回は、同時代の世相や風俗を取り入れながら歌謡映画や戦争もの、喜劇、アクションなど多彩なジャンルの作品を生み出した同社の22本(21プログラム)を上映します。ニュープリントで甦った日本映画をフィルムセンターの大スクリーンでお楽しみください。

本事業の実施にあたっては、社団法人日本映画製作者連盟加盟社等映画会社各社および現像所各社のご協力をいただきました。

- ◎=監督・演出 ◎=原作・原案 ◎=脚本・脚色
- ◎=撮影 ◎=美術・装置 ◎=音楽 ◎=出演
- スタッフ、キャストの人名は原則として公開当時の表記を記載しています。
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。



恐怖のカービン銃



アジャパー天国

1 1/6(金)3:00pm 1/21(土)1:00pm 1/31(日)7:00pm

流星

(82分・35mm・白黒)

東宝争議の際、新東宝に移籍した阿部豊が監督したギャング映画、ヒロイン・山口淑子は、キャバレー歌手の役どころで、主題歌「恋の流れ星」(服部良一作曲)も担当、映画の終盤、ギャングの首領(山村)が逃走するシーンでは、勝間橋でのロケーション撮影が行われた。勝間橋の跡は橋機機(当時はまだ開閉が可能だった)がクライマックスを引き立てる。

*49(新東宝)◎阿部豊◎富田幸雄◎館岡謙之助◎山中進◎進藤誠吾◎服部良一◎山口淑子、大日方博、山村耀、若原雅夫、野上千鶴子、千明みゆき、伊藤一郎、中村彰、鳥羽陽之助

2 1/6(金)7:00pm 1/22(日)4:00pm

湯の町悲歌

(60分・35mm・白黒)

作曲家・古賀政男及び歌手・近江俊郎の代表曲である「湯の町エレジー」をもとにつくられた歌謡映画。伊東温泉でロケーション撮影が行われた。旅館の娘(山根)が、客としてやってきた作曲家(近江)と恋に落ちるが、旅館の借金問題が持ち上がり、意に染まぬ結婚を迫られる…。のちに近江は監督業にも進出。実兄の大蔵寅吉が新東宝代表取締役役に就任した翌年(1956年)からは、新東宝が近江の監督作を公開することになる。

*49(新東宝)◎野村浩将◎佃田信夫◎横山実◎梶山信◎古賀政男◎山根壽子、近江俊郎、清川荘司、田中春男、宮川玲子、千石規子

恐怖のカービン銃

(45分・35mm・白黒)

1954年、保安庁(現防衛省)の元職員が、三人の仲間と同行の金を強奪した「カービン銃ギャング事件」。本作はこの事件の発生直後につくられたドキュメンタリー・タッチの再現ドラマである。本作の公開直前に犯人が逮捕。実際のニュース映像などが使用され、さらに新聞記者役の近藤宏のナレーションが挿入される。主犯の男にはこのとき映画初主演の天知茂。主犯の情婦に三原葉子。

*54(新東宝)◎山口哲◎浅野辰雄◎井上莞◎吉山雅治◎伊藤良二◎天知茂、三原葉子、村山京司、加藤章、三砂豆、児玉一郎、上野綾子、有馬新二、倉橋広明、川部守一、近藤宏

3 1/7(土)1:00pm 2/1(日)7:00pm

帰国 ダモイ

(90分・35mm・白黒)

当時のソ連地域からの引揚者を巡る様々なエピソードを、主に彼らを持つ家族や恋人などの視点から語ったオムニバス映画、ドキュメンタリー・タッチの演出が随所になされ、当時の世相が色濃く反映されている。また、いわゆる「赤い引揚者」についての描写があるのも大きな特徴である。シベリアに抑留された夫を持つ妻を描いた「異国の丘」(1949年)を監督した渡辺邦男が、本作では監督としてクレジットされている。

*49(新東宝)◎佐藤武◎渡邊邦男◎岸松雄◎山崎一雄◎伊藤寿一◎飯田信夫◎井上正夫、野上千鶴子、和田信賢、堀雄二、大日方博、莊司肇、山室新、田中春男、山口淑子、梶山信、泉麗子、池部良、藤田進

4 1/7(土)4:00pm 1/18(日)7:00pm 2/2(木)3:00pm

憧れのハワイ航路

(78分・35mm・白黒)

戦後歌謡を代表する、作曲・服部良一、歌・岡晴夫による大ヒット曲を、岡主演・美空ひばり共演で映画化。監督はコメディの名手・斎藤寅次郎。ハワイ生まれで今は日本で暮らす岡田(岡)は、戦争でハワイの父親の消息が途絶えてしまった。彼は、ある日男たちにからまれていた花売り娘・君子(美空)を救い、自分の下宿に連れて行く。実はこの下宿には君子の生き別れの母(清川)がいた…。岡・美空の二人の歌がふんだんに盛り込まれている。

*50(新東宝)◎斎藤寅次郎◎サトウ・ハチロー◎八住利雄◎友成達雄◎加藤雅俊◎上原けん◎岡晴夫、美空ひばり、花菱アチャコ、キドシン、古川緑波、柴田早苗、吉川菊子、清川玉枝

5 1/8(日)1:00pm 1/25(日)7:00pm 2/2(木)7:00pm

夜の緋牡丹

(105分・35mm・白黒)

千葉泰樹監督の前作『山の彼方に』(製作＝藤本プロ、配給＝新東宝、1950年)において、新東宝はフレッシュ・ガールを募集。これに応募し、スクリーンデビューを果たしたのが鳥崎雪子である。その芸名は、『青い山脈』(1949年)の原節子の役名に由来する。本作は千葉が手掛けた鳥崎の初主演作。彼女は奔放な若い芸者に扮する。天井からぶら下がり接吻するシーンがある。

*50(製作＝銀座ふるだくしょん)◎千葉泰樹◎八田尚之◎鈴木博◎下河原友雄◎早坂文雄◎伊豆肇、鳥崎雪子、田崎潤、月丘夢路、龍崎一郎、山本謙三郎、北澤彰、勝見庸太郎、高堂鑑典

6 1/8(日)4:00pm 1/19(木)7:00pm 1/27(金)3:00pm

桃の花の咲く下で

(73分・35mm・白黒)

ブギの女王として名を馳せ、『銀座カンカン娘』(島耕二監督、1949年)など当時の新東宝作品に出演歴もあった笠置シズ子と、清水宏が初めて最後のタッグを組んだ母もの歌謡映画。公開当時、映画批評家の双葉十三郎は「戦後の彼の作品としては一番つまらぬ粗品」(「キネマ旬報」)と酷評した。だが、紙芝居屋に扮する笠置の歌と踊りは非常に楽しく、さらには、笠置の子供が橋を渡るシーンなど随所に素晴らしい演出もある。今後の再評価が待たれる一本。

*51(新東宝)◎清水宏◎岸松雄◎鈴木博◎鳥井塚誠一◎服部良一◎笠置シズ子、日守新一、柳家金語楼、花井蘭子、中川滋、大山健二、北澤彰、鳥羽陽之助、清川玉枝、伊藤里子、梶山信、江戸川蘭子、花岡菊子

7 1/10(日)3:00pm 1/22(日)1:00pm 2/3(日)7:00pm

借春

(97分・35mm・白黒)

「狸御殿」シリーズの木村恵吾が新東宝で監督・脚本を担当した唯一の作品。安月給のサラリーマンの藤崎実(上原)は、流行歌手の妻(笠置)に頭が上がらない。やがて藤崎は、妻の公演旅行中に家政婦として来ることになった蟻安たか子(山根)に惹かれていく…。仕事関係の人々が始終出入りする家の中で笠置シズ子に翻弄される上原謙の亭主ぶりが面白い。

*52(新東宝)◎木村恵吾◎小原真治◎下河原友雄◎飯田三郎◎上原謙、山根壽子、笠置シズ子、齊藤達雄、清水将夫、田中春男、伊藤雄之助、東野英治郎

8 1/10(日)7:00pm 1/21(土)4:00pm 2/1(日)3:00pm

ハワイの夜

(84分・35mm・白黒)

新生プロは、鶴田浩二が興した戦後初の俳優独立プロ。本作は新生プロと新東宝の提携第2作。初提携作『弥太郎笠』(マキノ雅弘監督、1952年)に続き、鶴田が主演及び主題歌、岸恵子がヒロインを務める。スポーツ観衆大使としてハワイを訪れた水泳選手・スナボウ(鶴田)は日系二世のジーン(岸)を愛するようになる。だが日米の開戦が二人を引き裂く。マキノが前半のコメディから後半のメロドラマまで手堅く演出。邦画初のハワイ・ロケの場面は松林宗恵が担当。

*53(新東宝＝新生プロ)◎マキノ雅弘、松林宗恵◎今日出海◎松浦健郎◎三村明◎進藤誠吾◎渡辺弘◎鶴田浩二、岸恵子、水の江滝子、御園裕子、水島道太郎、三橋達也、小杉勇、江川宇礼雄、横山運平、田中春男、薄花久子

9 1/11(日)3:00pm 1/28(土)1:00pm

アジャパー天国

(84分・35mm・白黒)

「アジャパー」とは、斎藤寅次郎監督『吃七捕物帖 一番手柄』(松竹、1951年)での伴淳三郎(バンジュー)の台詞「アジャパーにしてパーでござります」の略語。驚きあきれたときの感嘆詞として当時の流行語になった。この語の人気にあやかり、新東宝が、斎藤とバンジューのコンビで製作したのがこの映画。バンジュー・泉友子の劇中歌もヒットした。バンジューの他、花菱アチャコ、古川緑波(ロッパ)、柳家金語楼、堀雄二、トニー谷など、著名な喜劇人たちが勢揃いする。

*53(新東宝)◎斎藤寅次郎◎サトウ・ハチロー◎八住利雄◎友成達雄◎加藤雅俊◎服部正◎花菱アチャコ、伴淳三郎、古川緑波、田崎義夫、堀雄二、清川虹子、南壽美子、高島忠夫、田中春男、尾美智子、キドシン、トニー・谷、泉友子、柳家金語楼

10 1/11(水)7:00pm 1/29(日)4:00pm 1/31(火)3:00pm

もぐら横丁

(93分・35mm・白黒)

尾崎一雄の「もぐら横丁」他いくつかの私小説短篇を、清水宏が吉村公三郎と共同脚色。当時の清水にとって久々のセット撮影中心の作品で、新東宝撮影所が利用された。貧乏作家の緒方＝尾崎(佐野)と妻(島崎)の苦境に晒されながらも微笑ましい暮らしぶりが描き出される。もぐら横丁の長屋に暮らす大学生・伴克雄(和田)は壇一雄、夫妻を気遣う女流作家・早瀬希美子(堀越)は林芙美子がモデル。また、尾崎士郎、壇一雄、丹羽文雄が特別出演。

'53(新東宝)◎清水宏◎尾崎一雄◎吉村公三郎◎鈴木博◎島井輝◎大森盛太郎◎佐野周二◎島崎雪子◎日守新一◎宇野重吉◎若山セツ子◎森繁久彌◎和田孝◎片桐余四郎◎千秋實◎磯野秋雄◎杉寛◎田中春男◎堀越節子◎天知茂◎尾崎士郎◎壇一雄◎丹羽文雄

11 1/12(水)3:00pm 1/20(日)7:00pm 1/29(日)1:00pm

戦艦大和

(101分・35mm・白黒)

天一号作戦における戦艦大和の沖縄への出撃から沈没までを描いた、新東宝の特撮戦争映画。原作は、当時大和の乗組員だった吉田満の戦記『戦艦大和/最期』、『流星』(1949年)、『細雪』(1950年)の阿部豊が監督を務めた。多くのエキストラを動員した戦闘シーンには臨場感があり、主要俳優たちの演技には真実味がある。映画は大ヒットしたが、同時に、軍人を美化しすぎている。戦争肯定に陥っている。などの批判にもさらされた。

'53(新東宝)◎阿部豊◎吉田満◎八住利雄◎横山実◎進藤誠吾◎芥川也寸志◎藤田進◎舟橋元◎高田稔◎佐々木孝丸◎小川虎之助◎見明凡太郎◎伊沢一郎◎片山明彦◎高島忠夫◎三津田健◎中村伸郎◎宮口精二◎竜岡晋

12 1/12(水)7:00pm 1/28(土)4:00pm 2/3(日)3:00pm

日本敗れず

(102分・35mm・白黒)

新東宝が、『戦艦大和』に引き続き、阿部豊を監督に起用して製作した戦争映画。日本のポツダム宣言受諾を巡る政府や軍部の混乱、陸軍将校たちのクーデター未遂事件(宮城事件)、そして玉音放送へ…1945年8月14日から15日にかけて起きたこれら一連の出来事を、オールスター・キャストで描く。早川雪洲演じる陸相の自決シーンなどが印象に残る。岡本喜八監督『日本のいちばん長い日』(東宝、1967年)も本作と同じ出来事を描いている。

'54(新東宝)◎阿部豊◎館岡謙之助◎横山実◎進藤誠吾◎鈴木静一◎早川雪洲◎藤田進◎山村聰◎柳永二郎◎藤原進◎小川虎之助◎高田稔◎小笠原弘◎舟橋元◎沼田曜一◎細川俊夫◎丹波哲郎◎宇津井健◎北沢彪◎安部鶴◎佐々木孝丸

13 1/13(金)3:00pm 1/19(木)3:00pm 2/4(土)1:00pm

忍術児雷也

(80分・35mm・白黒)

萩原遼と加藤泰が共同監督した、新東宝版特撮忍術映画。『児雷也』は立川文雄の英雄で戦前には何度も映画化された。七代目大谷友右衛門(現中村富右衛門)が児雷也を演じる。大河内傳次郎、新人時代の若山富三郎が共演。

'55(新東宝)◎萩原遼◎加藤泰◎眞鏡院太郎◎平野好美◎鈴木孝俊◎高橋半◎大谷友右衛門◎若山富三郎◎田崎潤◎瑛峨三智子◎新倉美子◎利根はる恵◎大河内傳次郎

14 1/13(金)7:00pm 1/26(木)3:00pm 2/5(日)4:00pm

逆襲大蛇丸

(70分・35mm・白黒)

『忍術児雷也』の続篇。児雷也(大谷)が大蛇丸(田崎)と再び対決する。出演者、スタッフはほぼ同じだが、監督には加藤泰のみがクレジットされている。

'55(新東宝)◎加藤泰◎眞鏡院太郎◎平野好美◎鈴木孝俊◎高橋半◎大谷友右衛門◎若山富三郎◎田崎潤◎瑛峨三智子◎新倉美子◎利根はる恵◎大河内傳次郎

15 1/14(土)1:00pm 1/24(火)3:00pm

番場の忠太郎

(86分・35mm・白黒)

戦前戦後を通じ、何度か映画化された長谷川伸『暁の母』。本作は中川信夫監督版。番場の忠太郎を若山富三郎、母を山田五十鈴が演じる。

'55(新東宝)◎中川信夫◎長谷川伸◎三村伸太郎◎岡戸嘉外◎伊藤麗一◎清瀬保二◎山田五十鈴◎若山富三郎◎桂木洋子◎森繁久彌◎島羽陽之助◎阿部九州男◎伊澤一郎◎三井弘次◎滝花久子◎光岡早苗◎花岡菊子◎坪井哲◎冬木京三

16 1/14(土)4:00pm 1/26(木)7:00pm

母の曲

(98分・35mm・白黒)

娘の幸福を願って自らの人生を犠牲にする母を描く『母の曲』。当時は、三益愛子主演の大映『母の曲』シリーズが好評を博していた。このシリーズの人気にあやかり、新東宝が、三益及び彼女とよく組んだ小石栄一監督を起用してつくったのが本作。戦前に、母・英百合子、娘・原節子のキャストで東宝が製作した『母の曲』(山本薩夫監督、1937年)を、物語の展開はほぼそのままに、風俗などを同年代に置き直してリメイクした。

'55(新東宝)◎小石栄一◎吉屋信子◎笠原良三◎岡戸嘉外◎朝生治男◎越田三郎◎三益愛子◎安西郷子◎宇津井健◎田中春男◎増田順二◎浦川五枝◎花岡菊子◎坪井哲◎上原謙◎木暮実千代

17 1/15(日)1:00pm 1/25(水)3:00pm

アツカマ氏とオヤカマ氏

(85分・35mm・白黒)

岡部冬彦の漫画を、監督・千葉泰樹、脚本・笠原良三で映画化した新東宝版サラリーマン喜劇。ずうずうしいけどどこか憎めないセールスマン「アツカマ氏」に小林桂樹、ガミガミうるさい上司の販売課長の「オヤカマ氏」に上原謙。支店長には森繁久彌が扮する。本作の翌年、オリジナル脚本に笠原、監督に千葉、社長に森繁、その秘書に小林を起用した『へそくり社長』(1956年)が公開され、のちにシリーズ化される。東宝『社長』シリーズの誕生である。

'55(新東宝)◎千葉泰樹◎岡部冬彦◎笠原良三◎西垣六郎◎朝生治男◎三木鶏郎◎小林桂樹◎上原謙◎久保菜穂子◎三原葉子◎遠山幸子◎花井蘭子◎細川俊夫◎井上大助◎上田ゆき◎相馬千恵子◎森繁久彌◎三遊亭金馬◎美舟洋子◎沢村昌之助◎関三十郎

18 1/15(日)4:00pm 1/20(金)3:00pm 1/24(火)7:00pm

風流交番日記

(91分・35mm・白黒)

東宝争議の際、新東宝に移籍して1952年に監督デビュー、『人間魚雷 回天』(1955年)で高く評価された松林宗恵が、56年に東宝へ復帰するまでの間に手掛けた隠れた佳作。国電駅前の交番に勤める巡査・初久井(小林)と彼の同僚たち(志村、宇津井、御木本)が毎日様々な事件に遭遇する。女心に疎い、お人よしの巡査を小林桂樹が好演している。新機軸周辺のプロケーション映像も見所。のちに松林は、小林出演の東宝『社長』シリーズの大半を演出する。

'55(新東宝)◎松林宗恵◎中村錦◎須崎勝彌◎西垣六郎◎黒澤治安◎宅孝二◎小林桂樹◎宇津井健◎加東大介◎多々良純◎丹波哲郎◎高田稔◎志村喬◎安西郷子◎阿部寿美子◎野上千鶴子◎花岡菊子◎千明ゆき◎英百合子◎御木本伸介◎天知茂

19 1/17(火)3:00pm 2/5(日)1:00pm

リングの王者 栄光の世界

(75分・35mm・白黒)

石井輝男のデビュー作。魚河岸の青年・塚本新一郎(宇津井)が、元ボクサーのトレーナー(中山)に教える。タイトル・マッチに挑む。新一郎の恋人を池内淳子が好演。一連のボクシング・シーンのカット割りが見事。

'57(新東宝)◎石井輝男◎内田弘三◎鈴木博◎小汲明◎齊藤一郎◎宇津井健◎池内淳子◎中山昭二◎細川俊夫◎鮎川浩◎小高まさる◎若杉嘉津子◎伊沢一郎◎林國治◎米山廣人◎旗照夫◎天知茂

20 1/17(火)7:00pm 2/4(土)4:00pm

女の防波堤

(87分・35mm・白黒)

終戦直後、『日本女性の防波堤たれ!』という名目のもと、占領軍兵士向けの慰安所として「特殊慰安施設協会(RAA)」が設立された。本作は、このRAAに集められた女性たちの実態を描いた同名原作の映画化。監督は新東宝でデビューした小森白。荒んだ生活からなかなか抜けられないヒロイン・ふみ子を演じたのは、当時新人の小畑絹子。他にも三原葉子、万里昌代などが熱演。大蔵新東宝らしい作品といえよう。

'58(新東宝)◎小森白◎田中真美子◎小川一夫◎村山俊郎◎岡戸嘉外◎島田輝◎古賀政男◎小畑絹子◎荒川さつき◎筑紫あけみ◎細川俊夫◎三原葉子◎城美穂◎万里昌代◎鮎川浩

21 1/18(水)3:00pm 1/27(金)7:00pm

黒線地帯

(80分・35mm・白黒)

新東宝時代の石井輝男の代表作「ライン(地帯)」シリーズ第2弾。秘密売春組織を追っていたトップ屋の町田広二(天知)は、組織にはめられて殺人犯に仕立てあげられてしまう。真犯人探しに奔走する中、彼の前に様々な女たちがあらわれる…。町田を助ける女・麻耶を三原葉子が好演。撮影当時の新宿や横浜の映像も見所。

'60(新東宝)◎石井輝男◎宮川一郎◎吉田重業◎宮沢計次◎渡辺宙明◎天知茂◎三ツ矢歌子◎三原葉子◎細川俊夫◎瀬戸麗子◎矢代京子◎魚住純子◎鮎川浩◎宗方祐二◎大友純



リングの王者 栄光の世界

小ホール(地下1階)

日本の文化・記録映画選 文化庁「工芸技術記録映画」の特集

Japanese Craft Techniques on Screen:
Documentary Film Series by Agency for Cultural Affairs

共催:文化庁

2011年11月25日◎-2012年1月15日◎

*金曜日・土曜日・日曜日のみ上映

(12月30日-1月1日は休映)



『髹絵-松田権六のわざ-』
(写真:大塚一彦)

定員=小ホール 151名(各回入替制)

券額=地下1階受付

料金=一般500円/高校・大学生・シニア300円/

小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、

キャンパスメンバーズは無料

*開映後の入場はできません。

*観覧券は当日・当該回のみ有効です。

*発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第

締切ります。

*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものを提示ください。

*発券は各回1名につき1枚のみです。

*詳細は当該チラシまたはフィルムセンターのホームページをご覧ください。

よみがえる日本映画vol.3[新東宝篇]—映画保存のための特別事業費による
The Little Known Japanese Cinema vol.3—NFC's Newly Acquired Collection from Major Film Studios

月	火	水	木	金	土	日
2				1 流星 3:00pm (82分)	3 帰国 ダモイ 1:00pm (90分)	5 夜の緋牡丹 1:00pm (105分)
				2 湯の町悲歌 7:00pm (60分) 恐怖のカービン銃 (45分)	4 憧れのハワイ航路 (78分)	6 桃の花の咲く下で (73分)
9	7 惜春 3:00pm (97分)	9 アジャパー天国 3:00pm (84分)	11 戦艦大和 3:00pm (101分)	13 忍術児雷也 3:00pm (80分)	15 番場の忠太郎 1:00pm (86分)	17 アツカマ氏とオヤカマ氏 (85分)
	8 ハワイの夜 7:00pm (84分)	10 もくら横丁 7:00pm (93分)	12 日本敗れず 7:00pm (102分)	14 逆襲大蛇丸 7:00pm (70分)	16 母の曲 4:00pm (98分)	18 風流交番日記 4:00pm (91分)
16	19 リングの王者 栄光の世界 3:00pm (75分)	21 黒線地帯 3:00pm (80分)	13 忍術児雷也 3:00pm (80分)	18 風流交番日記 3:00pm (91分)	1 流星 1:00pm (82分)	7 惜春 1:00pm (97分)
	20 女の防波堤 7:00pm (87分)	4 憧れのハワイ航路 (78分)	6 桃の花の咲く下で (73分)	11 戦艦大和 7:00pm (101分)	8 ハワイの夜 4:00pm (84分)	2 湯の町悲歌 4:00pm (60分) 恐怖のカービン銃 (45分)
23	15 番場の忠太郎 3:00pm (86分)	17 アツカマ氏とオヤカマ氏 3:00pm (85分)	14 逆襲大蛇丸 3:00pm (70分)	6 桃の花の咲く下で (73分)	9 アジャパー天国 1:00pm (84分)	11 戦艦大和 1:00pm (101分)
	18 風流交番日記 7:00pm (91分)	5 夜の緋牡丹 7:00pm (105分)	16 母の曲 7:00pm (98分)	21 黒線地帯 7:00pm (80分)	12 日本敗れず 4:00pm (102分)	10 もくら横丁 4:00pm (93分)
30	10 もくら横丁 3:00pm (93分)	8 ハワイの夜 3:00pm (84分)	4 憧れのハワイ航路 (78分)	12 日本敗れず 3:00pm (102分)	13 忍術児雷也 1:00pm (80分)	19 リングの王者 栄光の世界 (75分)
	1 流星 7:00pm (82分)	3 帰国 ダモイ 7:00pm (90分)	5 夜の緋牡丹 7:00pm (105分)	7 惜春 7:00pm (97分)	20 女の防波堤 4:00pm (87分)	14 逆襲大蛇丸 4:00pm (70分)

展示室(7階)

【企画展】

日本の映画ポスター芸術

The Art of Film Posters in Japan

1月7日—3月31日 *月曜日は休室

日本の映画ポスターは、製作・配給会社のコントロールのもと、その多くが匿名的に作られてきました。しかし歴史をたどってみれば、その枠に収まらない数々の芸術的野心を見つけることができます。河野鷹思、野口久光、粟津潔、横尾忠則、和田誠など、さまざまなアーティストが手がけたポスターを通じて、映画とグラフィック・アートとの結節点を探ります。

*詳細は当該チラシをご覧ください。

【常設展】企画展に併設

NFCコレクションでみる

日本映画の歴史

Nihon Eiga: The History of Japanese Film From the NFC Non-film Collection

映画の渡来した19世紀末から発展を続け、二つの黄金時代を経験した日本映画の豊かな歴史を、長年フィルムセンターが収集してきた多彩なコレクション(ポスター、スチル写真、雑誌、製作資料、業界資料、カメラなど機械類、映画人の遺品、映像など)によってたどります。日本映画史の新しい学びの場として、小学生から大人まで幅広い世代の方々を対象とする内容になっています。(Captions in Japanese and English)

開室時間=午前11時—午後6時30分

(入場は午後6時まで)

料金(企画展・常設展共通)=一般200円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

- * ()内は20名以上の団体料金です。
- * 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。
- * フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

研究員による常設展ギャラリートーク

毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日)
今月の開催日:1月7日



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

- ▼交通:
- 東武東上線京橋駅下車、出口11から昭和通り方向へ徒歩1分
- 都営地下鉄有楽町線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
- 東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
- JR東京線下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ:ハローダイヤル03-5777-8600

- NFCホームページ:
<http://www.momat.go.jp/>
- NFC携帯電話ホームページ:
<http://www.momat.go.jp/nfc/ki/>



図書室カレンダー

赤字は休室日

1月

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

図書室(4階)

開室=火曜日—土曜日(午後0時30分—午後6時30分)/入室は午後6時まで 閉室=休館日および日曜日・祝日

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイブやシネマテークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。



東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイブ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。